【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和3年8月19日(2021.8.19)

【公開番号】特開2021-13811(P2021-13811A)
【公開日】令和3年2月12日(2021.2.12)
【年通号数】公開・登録公報2021-006
【出願番号】特願2020-188523(P2020-188523)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０
Ａ６３Ｆ　7/02　３３３Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和3年7月8日(2021.7.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
設定値に設定された確率により遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
設定値を設定可能な設定モードに制御可能な設定モード制御手段と、
設定値を確認可能な確認モードに制御可能な確認モード制御手段と、
特定信号を出力可能な信号出力手段と、
前記設定モードに制御されているときと、前記確認モードに制御されているときとで設定値を表示可能な設定値表示手段と、を備え、
前記信号出力手段は、
前記設定モードの制御の開始に対応して特定信号の出力を開始し、該設定モードの制御の終了後においても延長期間に亘って特定信号を出力し、
前記確認モードの制御の開始に対応して特定信号の出力を開始し、該確認モードの制御の終了後においても延長期間に亘って特定信号を出力し、
前記設定モード制御手段は、前記設定モードに制御している旨を示す特定フラグをセットすることが可能であり、
電断が発生し、復旧した場合に、
電断前に記憶されたデータが正常か否かを判定するデータ判定処理と、
設定値のデータが正常か否かを判定する設定値判定処理と、
電断復旧後に前記特定フラグがセットされているか否かを判定するフラグ判定処理と、を実行可能であり、
前記設定モード制御手段は、
前記フラグ判定処理において前記特定フラグがセットされていることが判定された場合、特定条件が満たされていれば前記設定モードに制御し、
前記フラグ判定処理において前記特定フラグがセットされていることが判定された場合、前記特定条件が満たされていなければ前記設定モードに制御せず、
前記データ判定処理において正常ではないと判定されかつ前記特定条件が満たされていないとき、前記設定値判定処理において正常ではないと判定されかつ前記特定条件が満たされていないとき、前記フラグ判定処理において前記特定フラグがセットされていること

が判定されかつ前記特定条件が満たされていないとき、のいずれにおいても、前記設定値表示手段にエラー表示を表示させる共通の処理を行う、
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
特許文献１に示すように、複数段階の設定値を外部からの設定変更操作に基づいて変更する設定変更手段を備える遊技機が提案されている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
【特許文献１】特開２０１０－２００９０２号公報（段落０００７）
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
特許文献１の機能や構成を有する遊技機の商品性を高める余地があった。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
そこで、本発明は、商品性を高めた遊技機を提供することを目的とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
（１）本発明による遊技機は、
設定値に設定された確率により遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
設定値を設定可能な設定モードに制御可能な設定モード制御手段と、
設定値を確認可能な確認モードに制御可能な確認モード制御手段と、
特定信号を出力可能な信号出力手段と、
前記設定モードに制御されているときと、前記確認モードに制御されているときとで設定値を表示可能な設定値表示手段と、を備え、
前記信号出力手段は、
前記設定モードの制御の開始に対応して特定信号の出力を開始し、該設定モードの制御の終了後においても延長期間に亘って特定信号を出力し、
前記確認モードの制御の開始に対応して特定信号の出力を開始し、該確認モードの制

御の終了後においても延長期間に亘って特定信号を出力し、
前記設定モード制御手段は、前記設定モードに制御している旨を示す特定フラグをセットすることが可能であり、
電断が発生し、復旧した場合に、
電断前に記憶されたデータが正常か否かを判定するデータ判定処理と、
設定値のデータが正常か否かを判定する設定値判定処理と、
電断復旧後に前記特定フラグがセットされているか否かを判定するフラグ判定処理と、を実行可能であり、
前記設定モード制御手段は、
前記フラグ判定処理において前記特定フラグがセットされていることが判定された場合、特定条件が満たされていれば前記設定モードに制御し、
前記フラグ判定処理において前記特定フラグがセットされていることが判定された場合、前記特定条件が満たされていなければ前記設定モードに制御せず、
前記データ判定処理において正常ではないと判定されかつ前記特定条件が満たされていないとき、前記設定値判定処理において正常ではないと判定されかつ前記特定条件が満たされていないとき、前記フラグ判定処理において前記特定フラグがセットされていることが判定されかつ前記特定条件が満たされていないとき、のいずれにおいても、前記設定値表示手段にエラー表示を表示させる共通の処理を行う。
また、以下の構成であってもよい。
（手段１）本発明による遊技機は、遊技を行うことが可能であり、遊技者にとって有利度が異なる複数の設定値（例えば、設定値「１」～「６」）のうちいずれかの設定値に設定可能な遊技機であって、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当り遊技状態）に制御可能な有利状態制御手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ１００におけるステップＳ１２２～Ｓ１２５を実行する部分）と、有利状態とは異なる状態である特殊状態（例えば、小当り遊技状態）に制御可能な特殊状態制御手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ１００におけるステップＳ１２６～Ｓ１２８を実行する部分）と、特殊状態により遊技価値が付与されやすい特別状態（例えば、ＫＴ状態）に制御可能な特別状態制御手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ１００におけるステップ０５２ＩＷＳ２２０８，Ｓ２２１０，Ｓ２２１１，Ｓ２２１２，Ｓ２２１３を実行する部分）と、設定示唆演出を実行可能な設定示唆演出実行手段（例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０）とを備え、設定示唆演出実行手段は、遊技状態が切り替わるとき（例えば、大当り遊技の開始時や終了時、低確率／第１ＫＴ状態から通常状態（低確率／低ベース状態）に移行するとき）に、設定示唆演出を実行可能である（例えば、ステップ０５２ＩＷＳ６２４で右打ち表示の表示態様（例えば、表示色）を変化させる）ように構成されていてもよい。そのような構成によれば、遊技状態の切り替わりに関連させて設定示唆演出の興趣を向上させることができる。
手段Ａの遊技機は、
可変表示を実行可能であり、遊技用装置から出力される信号を受信可能な遊技機であって、
前記遊技用装置から出力される信号に基づいて遊技価値を付与可能な付与手段と、
設定値の設定を許可するための設定許可状態に制御可能な設定許可状態制御手段と、
前記設定値を確認するための設定確認状態に制御可能な設定確認状態制御手段と、
表示手段と、を備え、
特定の可変表示の進行状況として、第１状況と、該第１状況よりも可変表示が進行した第２状況と、があり、
前記表示手段は、
前記第１状況において、第１表示領域の表示態様を該第１状況に対応した表示態様とし、
前記第２状況において、前記第１表示領域の表示態様を該第２状況に対応した表示態様とし、第２表示領域の表示態様を該第２状況に対応した表示態様とし、

前記設定許可状態に制御されているときに、前記遊技用装置から出力される信号に基づく遊技媒体の付与が可能であり、
前記設定確認状態に制御されているときに、前記遊技用装置から出力される信号に基づく遊技媒体の付与が可能である（図９－３１における球貸の方法と、図１３－１２～図１３－１５におけるミュージックリーチ演出）。
また、手段Ｔ１の遊技機は、
遊技者にとって有利な有利状態（大当り遊技状態）に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出（ミュージックリーチ演出、カットイン予告演出）を実行可能な示唆演出実行手段（演出制御用ＣＰＵ１２０）と、
前記示唆演出の実行状況に関連した関連演出（計数表示演出）を実行可能な関連演出実行手段（演出制御用ＣＰＵ１２０）と、を備え、
前記示唆演出の実行状況として、第１段階（図１３－１５（３）に示すように、ミュージックリーチ演出における１秒～１５秒の期間）と、第１段階の後の第２段階（図１３－１５（４）に示すように、ミュージックリーチ演出における１６秒～３０秒の期間）とがあり、
第２段階の前記示唆演出が実行されるときは、第１段階の前記示唆演出が実行され第２段階の前記示唆演出が実行されないときよりも前記有利状態に制御される割合が高く（図１３－１３（Ａ）～（Ｄ）に示すように、ミュージックリーチ演出が第１段階で終了するときよりも、ミュージックリーチ演出が第２段階まで実行されるときの方が、大当り期待度が高く）、
前記示唆演出が第１段階のときよりも、前記示唆演出が第２段階のときの方が前記関連演出を認識し易い（図１３－１５（３）、（４）に示すように、ミュージックリーチ演出が第１段階のときは、第１ロゴパネル３５ＴＭ４１０及び第２ロゴパネル３５ＴＭ４２０は、原点位置にあるため、サブ液晶表示器３５ＴＭ３００の視認性が低下し、サブ液晶表示器３５ＴＭ３００における計数表示演出の視認性が低下している一方で、ミュージックリーチ演出が第２段階のときは、第１ロゴパネル３５ＴＭ４１０及び第２ロゴパネル３５ＴＭ４２０は、演出位置にあるため、サブ液晶表示器３５ＴＭ３００の視認性が向上し、サブ液晶表示器３５ＴＭ３００における計数表示演出の視認性が向上している）
ことを特徴とする遊技機。
このような構成によれば、示唆演出が第１段階のときは、示唆演出が第２段階のときと比較して関連演出を認識し難いため、興趣の低下を抑えることができる。